

2022年3月1日発行

## ロシアによるウクライナに対する軍事侵攻、世界に衝撃

## 最近の状況

NEWS LETTERは、節目の30号です。世界に大きな衝撃をもたらしたロシアによるウクライナへの軍事侵攻は、まさかと思われていた事態でした。それが現実になってしまい、さらに核兵器の使用や第三次世界大戦の可能性にまで世界の指導者たちの発言が及んでいます。「21世紀に、こんな理不尽なことがまかり通って良いはずがない！」と思う世界の良識が事態の軌道修正・正常化に効果を発揮することを心から願います。

## 2月準定例会を開催しました

2022年2月17日（木）19時半から21時まで2月準定例会をzoom形式で開催しました。今回は、工藤克典氏から「アジアのエネルギー安全保障と温暖化対応のための資金調達」と題して、資料に基づき、経済成長が予想されるアジアの石炭を中心としたエネルギー消費をどう地球温暖化対応したものに変えていくか、また、その中での日本の役割や資金調達について説明。世界の年間石炭消費量は中国とインドで大部分（中国20億トン-40億トン、50億トン説もあり、インド4億トン、米国2億トン、日本1億トン）。この2カ国が温暖化対応の大きな鍵を握ることに注目しました。

11名の参加者からは、主要国は、自国のカーボンニュートラルに注力するとともに、中国やインドを説得していく必要がある、トランジション（移行）ボンドやグリーンボンドのような経済に大きな影響を与える課題は政府が積極的に、民間を巻き込み国際社会にPRすべきである、今年6月に出される「クリーンエネルギー戦略」で、日本政府や経産省の気候変動問題への取組みの本気度が明らかとなるのではないかなどのコメントがありました。



白梅

## 水道公論3月号の内容

「海外水ビジネスの要点」シリーズでは「価値創造と非財務情報（後藤文昭氏）」、コラム「海外ビジネスの眼」では「海外インフラ投資とは」を掲載。

## 定例会・準定例会の計画について

- ZOOM幹事会が3月11日（金）20時から。3月、4月準定例会の開催内容の確認や今後の予定についての相談等を予定しています。
- 3月17日（木）の準定例会は、今回もzoomにより19時半から21時に開催します。内容は、年度末に際して予定したテーマでの実施が困難になったことも踏まえ、本会の基本テーマの一つになっている「投資とは何か 参入と退出のいろいろ他」の報告（工藤克典さん）を予定しています。途上国企業や海外直接投資先の上場についても触れるとのことでした。

## 水道公論コラム原稿を募集しています

字数は1500から1600字、「である調」、ペンネーム（実名は出さず）で原稿を募集しています。連絡は山村まで。